



小原田小学校だより

【教育目標】心身ともに健全で正しい判断力を持ち、自主性・創造性に満ち、心豊かなたくましい児童の育成

〇すすんで学習する子（知） 〇思いやりのある子（徳） 〇たくましい子（体）

第12号 令和2年6月17日発行

全校集会にて

6月16日（火）にテレビ放送で全校集会を行いました。内容は、全国読書感想画コンクールの表彰や校長の話、そして生活委員会の発表などでした。

まず、校長からは「挨拶」について次のように話しました。

朝、登校指導をしている時に「おはようございます。」と元気にあいさつする児童が何人もいます。その声を聞くととてもうれしい気持ちになります。

挨拶には「ありがとうございます。」「こんにちは。」など、いくつもあります。

「挨」という文字には心を開くという意味があります。また、「拶」にはその心に近づくという意味があります。ですから、「挨拶」には、自分の心を開いて相手の心を開かせ相手の心に近づく、心を開いた人に近づく、という意味が込められています。だから、自分から進んで挨拶することが大切なのです。挨拶は人と人をつなぐ大切なもの、というわけです。

『挨拶は、仲良しになる魔法の言葉』

とも言えます。挨拶で人と人とのコミュニケーションが始まります。

挨拶をする時に、3つ意識してほしいと思います。『自分から挨拶をする』『相手を見て挨拶をする』『聞こえる声で挨拶をする』の3つです。特に、今はマスクをしていて声が伝わりにくいので、いつもより声を出して挨拶をしてほしいと思います。

今より元気な挨拶の音が響く小原田小学校にしていきたいです。期待しています。

自分を省みて、改めるべきことは改める、ということは大切です。

次に、生活委員会の子どもたちからも挨拶についての話がありました。実際に、会釈の仕方や元気な挨拶をして見せてくれました。きっと全校生の心に響いたことと思います。

今より、友だちや先生そして家族など、出会った人に自分から元気な挨拶ができる子どもになってほしいと思います。



全校集会全体を通して、進行や始めの言葉、そして終わりの言葉など、しっかり話せていて素晴らしいと思いました。